

牛の状態を見極めよう！

牛の世話中、牛の予想外の動きによる事故が多発しています。
一瞬の不注意が重大な事故につながる可能性があります。

[都道府県事故情報(平成23年4月～24年3月)集計結果より]

牛の世話中に発生した事故の主な報告実例

- 牛舎内で牛床の敷きわらを直していた際、突然牛が寄ってきてその弾みでバランスを崩しフォークを右足甲に刺し負傷
- 牧場牛舎内のパーラーから搾乳が終わった牛を誘導中、牛と壁の間に挟まれ左肋骨を骨折
- 牛舎にて搾乳作業中、搾乳機を落とした際、牛に右手親指を蹴られ靱帯損傷
- 畜舎で清掃作業中、牛に押され転倒し右肩を脱臼
- 牛舎から搾乳場へ牛を連れてくる際、発情中の牛に追いかけて胸付近を頭突きされ打撲
- 牛舎内で搾乳作業中、牛にミルカーをかけようとした際、突然牛が暴れだし倒れてきたので避けようとしたが、間に合わず体を挟まれ負傷
- 育成牛舎で除糞作業中、牛同士がケンカをし、牛の後部で作業していたため、牛と鉄パイプの間に挟まれ左背中肋骨を圧迫され負傷

あわてずに！

牛の状態に常に気をはらい、予期できない動きにもあわてずに対応できるよう事前安全確認に努めましょう。

